



朝日保育所(11月17日)

元気に!じょうずに!かっこよく!保育所おゆうぎかい



明和保育所(11月18日)



只見保育所(11月25日)



▲ 美しいメロディーを奏でる出演者

音 第3回森林のふれあいコンサート 楽を通して人と人とのつながりを...

11月13日に森林の分校ふざわで「第3回森林のふれあいコンサート」が開かれました。第一部では地元のピアノ教室の皆さんによる合唱やピアノ演奏、町外から参加された方々のマンドリンやギター演奏などが披露され、第二部でもチェンバロやリコーダーなどのアンサンブルとピアノのソロ演奏などが聴衆を魅了しました。町内外の出演者と音楽愛好グループの皆さんなどが交流、絆を深めました。

元 メッセージカード贈呈式 気ひまわりプロジェクト

11月7日、熊本県宇城青年会議所から4名の方が只見小学校を訪れ、1～2年生の児童にメッセージカードを手渡しました。この事業は自然災害で被災した子どもたちを応援し元気づけることを目的に行われたもので、宇城市立当尾小学校の1～2年生児童が収穫したひまわりの種やメッセージカードが届けられました。只見小の1～2年生児童もお礼のメッセージカードを作り会議所の方に手渡しました。



▲ メッセージカードを手にする只見小児童

う ちゃれんじ農園サポート事業 ち豆ってむずかしいなあ～

福島県が進める食育推進事業「ちゃれんじ農園サポート事業」により明和保育所の子どもたちが世話をし育て、収穫した大豆で「うち豆」作り体験が、11月30日に行われました。この日は祖父母参観日でおじいちゃんやおばあちゃんの慣れた指導もあり、保育所児みんなで楽しく大豆をたたいていました。できた「うち豆」は、後日、給食のみそ汁などに入れ、おいしく食べるとのことです。



▲ 一生懸命に大豆をつぶす明和保育所児

歌 第29回ふるさと演芸会 や踊りで楽しく交流

地元の愛好者が歌や踊りを通して親睦を深める第29回ふるさと演芸会が、11月23日に朝日地区センターで開かれ、約60名が来場、楽しいひとときを過ごしました。演芸会では舞踊やカラオケなどの愛好者やグループが出演し、30曲の演目で次々に歌や踊りを披露、そのうつくしい歌声や艶やかな舞に、詰めかけた方からは歓声とともに大きな拍手が送られ、最後まで盛り上がりました。



▲ しっかりと舞を披露する出演者

が 2011年「ふるさと只見の集い」 がんばれ只見が合言葉



▲ 左から、ふるさと只見会代表の馬場賢一さん・目黒町長・五十嵐拓町議会議長

東京都とその近郊に在住の只見町出身者約70名が出席され、10月30日に東京都千代田区のスクワール麹町で「ふるさと只見の集い」が開かれました。毎年、交流と親睦を目的に開かれる集いですが、今年は7月末の大水害を考慮し中止の意見もありましたが、最終的に「がんばれ只見！」を合言葉に行われ、会員の皆様から寄せられた義援金19万円が目黒町長に手渡されました。ありがとうございます。

只 第13回ブナセンター講座 見の自然を食べる



▲ 只見の自然食を紹介する平出美穂子さん

10月30日、ただみ・ブナと川のミュージアムで、只見の自然を食べると題し、第13回ブナセンター講座が開かれ、23名が受講しました。講師は郡山女子大学准教授の平出美穂子さん。平出さんはブナ林と川の恵みからなる自然食のことや奥会津の食文化などを紹介したのち「この只見でしか味わうことができない自然の恵みがあります。子どもに奥会津の尊い文化を伝えてほしい」と話されました。